

平成26年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	4. 交通安全施設維持管理事業
項	1. 土木管理費	中事業	
目	1. 土木総務費	担当所属	道路維持課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額
経常	単独	計画	62,770	11,875

実施計画	第5章	「住環境が整備された住みやすいまちづくり」～都市 基盤整備の充実～	5年間計画額	-
	基本施策3	道路環境が充実した安全で快適なまちにします	平成23年度	-
			平成24年度	-
	施策2	交通危険箇所の解消に努めます	平成25年度	-
平成26年度			-	
			平成27年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		74,645
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								74,645
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 機器保守点検(ユーカリが丘・JR佐倉駅)、安全施設維持補修工事(街灯・道路反射鏡・区画線など)、安全施設設置工事(街灯・道路反射鏡・区画線など)を行います。</p>	<p>(事業の目的) 交通安全、歩行者安全等の確保のため、街灯の設置、道路反射鏡の設置、警戒標識や路面標示の設置、あるいは維持管理することにより、交通事故の防止と交通安全の促進を図ります。また、駅に設置されているエレベーターやエスカレーター等の保守点検を行うことにより、駅利用者の利便性の向上を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 道路の安全を確保することにより、交通事故の防止を図ると共に市民の安全性をより向上されます。また、駅に設置されているエレベーターやエスカレーター等の保守点検を実施することにより、駅利用者の利便性が向上し、住みやすい安全で快適な街となります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 道路反射鏡・警戒標識を設置する場合、道路幅員が狭く設置場所に苦慮しています。また、隣接地権者の同意を得られない等の問題も起きています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 特になし。</p>	<p>(見積についての特記事項) 電気料金(燃料費調整額)の大幅な値上がり、労務単価の高騰及び消費税の税率改正に伴い増額を行います。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
11	49,068	38,268	10,800
13	10,177	9,062	1,115
15	14,600	14,600	0
16	800	840	△40

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	74,645		62,770